

## プライバシーテック市場

ICT・コンテンツ産業コンサルティング部 シニアコンサルタント 長谷川 ちひろ

「プライバシーテック」とは、企業や行政機関などが、個人情報をはじめとするパーソナルデータを取り扱う際に、適切にプライバシーを保護できるよう支援するための技術やソリューションの総称である。

同意の管理、保有するパーソナルデータの管理、開示請求等への対応、インシデント発生時の対応など、個人情報保護法の順守やプライバシー保護のために利用されるソリューションサービスはすべてプライバシーテックに含まれる。また、秘密計算、差分プライバシーなどの技術はプライバシー強化技術 (PETs: Privacy Enhancing Technologies) と呼ばれ、その活用も有効であろうと期待されている。

本稿では、ソリューションサービスの導入や保守・運用に加え、一体的に提供されることの多い、コンサルテーションサービス (弁護士への相談を含む) を含め「プライバシーテック市場」として定義する。コンサルテーションサービスには、プライバシー保護を担当する社内組織の設立、プライバシーポリシーや規定類の整備、プライバシーリスクの評価プロセスの整備、開示請求等やインシデント発生時の対応プロセスの整備、役職員の教育を含む。なお、本市場推計においては、前述の PETs 単体の市場規模については対象に含めていない。

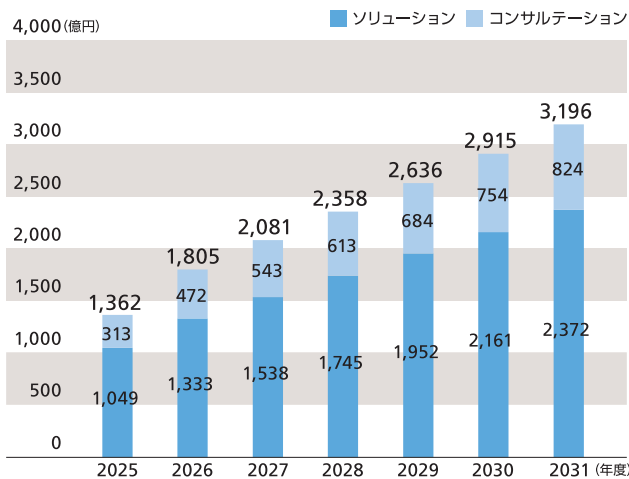
2025 年度時点のプライバシーテック市場の規模は約 1,362 億円であり、31 年度には 2.3 倍の約 3,196 億円で成長することが予想される。

NRI が 2025 年 7 月に実施した「IT の利活用に関するアンケート調査」では、企業に対し、プライバシーガバナンス構築に関する取り組み状況について尋ねたところ、大企業において「すでに取り組んでいる」と答えた割合は 42% (対前年度比 1 ポイント減)、「今後取り組む必要がある」と答えた割合は 33% (対前年度比同率) であった。中小企業においても「すでに取り組んでいる」と答えた割合は 31% (対前年度比同率) と、前年度と比較してほぼ横ばいで推移しており、一見すると前年度まで続いていた拡大基調から踊り場に出た感がある。

しかし、取り組みへの対応状況・課題感の内訳を見ると、委託先管理、インシデント発生時の対応やプライバシー影響評価 (PIA) は依然として高位で推移しており、これは、データ活用に伴って生じるリスクを未然に防止しようという企業の傾向が見取れる。このことから、今後も底堅いデータ活用に伴うリスク対応ニーズが、プライバシーテック市場を先導すると予測される。さらに個人情報保護法の次期改正による AI 学習への個人情報利用促進を織り込めば、リスク対応ニーズが増大し、再び市場が拡大していくものと期待される。

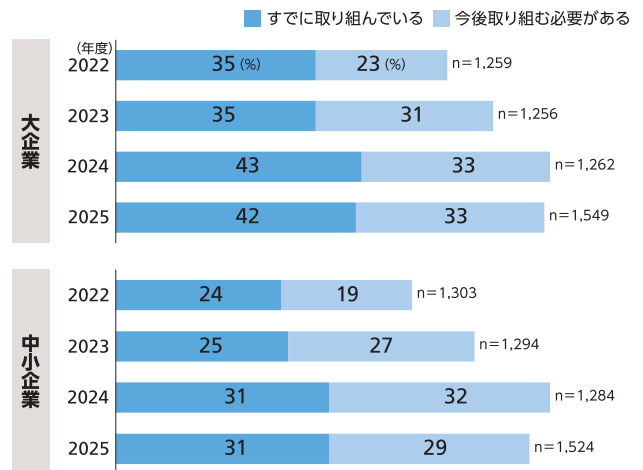
(監修: 小林 慎太郎)

図表1 プライバシーテック市場の市場規模予測



注) 2025 年度は NRI による推計、26 年度以降は予測  
出所) NRI 「IT の利活用に関するアンケート調査」 2025 年 7 月

図表2 プライバシーガバナンス構築に関する取り組みへの対応状況・課題感の推移



出所) NRI 「IT の利活用に関するアンケート調査」 2022 年 7 月、23 年 7 月、24 年 7 月、25 年 7 月